

研究機関：広島大学

研究課題名	神経下垂体病変に対する下垂体後葉生検術の有用性に関する研究
研究責任者名	広島大学病院脳神経外科 助教 木下康之
研究期間	2016年6月22日～ 2018年12月
対象者	2000年1月から2017年12月の間に、広島大学病院脳神経外科で神経下垂体病変を有し、下垂体生検術を受けた患者。
意義・目的	神経下垂体病変に対する生検術は、現在下垂体茎に対して行うことが一般的となっておりますが、下垂体後葉に対して生検術を行うことの有効性についてはまだ解明されていません。今回、神経下垂体病変に対する生検術が有効であることを明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容はMRI所見、ホルモン負荷試験値、尿崩症の有無、病理組織診断です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5227 広島大学病院脳神経外科 助教 木下康之